



報道機関各位

熊本大学

熊本大学「地下の文化財速報展示」のご案内
～縄文人骨を期間限定展示～

平成26年4月、熊本大学の黒髪南キャンパスで縄文時代後期前半（約4,000～3,500年前）の埋葬人骨が発見され、記者会見が開かれるなど大きな話題となりました。

本年1月、この縄文人骨が修復作業を終えて、熊本大学埋蔵文化財調査センターに帰ってきましたので、本センターでは、平成25年度の発掘調査成果と共に縄文人骨を期間限定で特別に展示することにいたしました。

学術的に貴重なこの縄文人骨をぜひ皆様にご高覧いただきたく、広く一般の方へお知らせいただくとともに、開催期間中の取材方、よろしく願いいたします。

記

- 【日時】平成27年2月27日（金）まで
開館時間：9：00～17：00（休館日：土曜・日曜・祝日）
※縄文人骨展示期間1月30日（金）まで

◆「地下の文化財速報展示」展示解説

1月22日（木）10：00～10：30

1月27日（火）10：00～10：30

- 【場所】熊本大学埋蔵文化財調査センター1階展示室（熊本市黒髪2丁目39番1号）
【対象】一般
【参加費】無料
【申込方法】不要
【内容】

平成26年4月、熊本大学黒髪南キャンパスで縄文時代後期前葉（約3,800～3,600年前）を主体とする遺跡が熊本大学埋蔵文化財調査センターの発掘調査によって発見されました。遺跡の地表下約2.2mからは埋葬人骨を伴う墓が見つかったほか、縄文時代の土器や石器も数多く出土しています。通常、縄文時代の人骨は火山灰由来の酸性土壌により消失することが多く、カルシウムの豊富な貝塚や洞穴遺跡などで見つかることがほとんどです。そのため平野部で発見されたこの縄文人骨は、学術的に大変貴重であり、奇跡的に残ったといえます。熊本大学埋蔵文化財調査センターは、この遺跡の発掘調査成果をまとめ、平成26年5月29日に記者会見を、5月31日には現地説明会を開いており、遺跡には多くの見学者が来訪し、縄文時代の埋葬人骨を現地でご

覧いただくことができました。

この縄文人骨の一部が修復作業を終えて熊本大学に帰ってきました。本センターでは平成26年11月4日から平成27年2月27日にかけて「地下の文化財速報展示」と題した特別展示を実施しており、縄文人骨を期間限定（平成27年1月5日～30日）で展示する運びとなりました。展示では、埋葬されていた成人男性と成人女性の頭や手足の骨の一部を閲覧でき、縄文人的な形質を持つ丈夫な下あごの骨や、発達した筋肉によって形状が変化した太ももの骨などを間近で見ることができます。また、墓の写真や図が示されており、縄文時代の墓の形態や縄文時代に顕著な埋葬姿勢である「屈葬^{くつそう}」の様子を見ることができるなど、当時の人々の姿や墓について知識を得ることができます。さらに、縄文人骨の他にも、平成25年度の発掘調査で出土した縄文土器や近代の骨壺など約53点の遺物を展示しており、遺跡の概要について説明を行っています。熊本大学のキャンパスに眠る過去の世界を、ぜひ皆様にご高覧いただきたく、ご案内いたします。

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/organizations/maibun/whatsnew/20150105>

【お問い合わせ先】

熊本大学埋蔵文化財調査センター

担当：山野 ケン陽次郎

電話：096-342-3832

e-mail：ken-arch@kumamoto-u.ac.jp

熊本大学

地下の文化財速報展示

眠いからさめた黒髪縄文人に会いに来ませんか？

縄文人骨が修復されて帰ってきました。期間限定で人骨を展示します！ 人骨展示期間：1月30日まで



縄文時代の墓

期 間 / 2015年2月27日（金）
まで

会 場 / 埋蔵文化財調査センター1階展示室

時 間 / 9:00 ~ 17:00

休館日 / 土・日曜日・祝日



入場
無料

問合せ先 熊本大学埋蔵文化財調査センター（平日9:00~17:00）
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1（黒髪南キャンパス）
TEL&FAX 096-342-3832
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/organizations/maibun/>